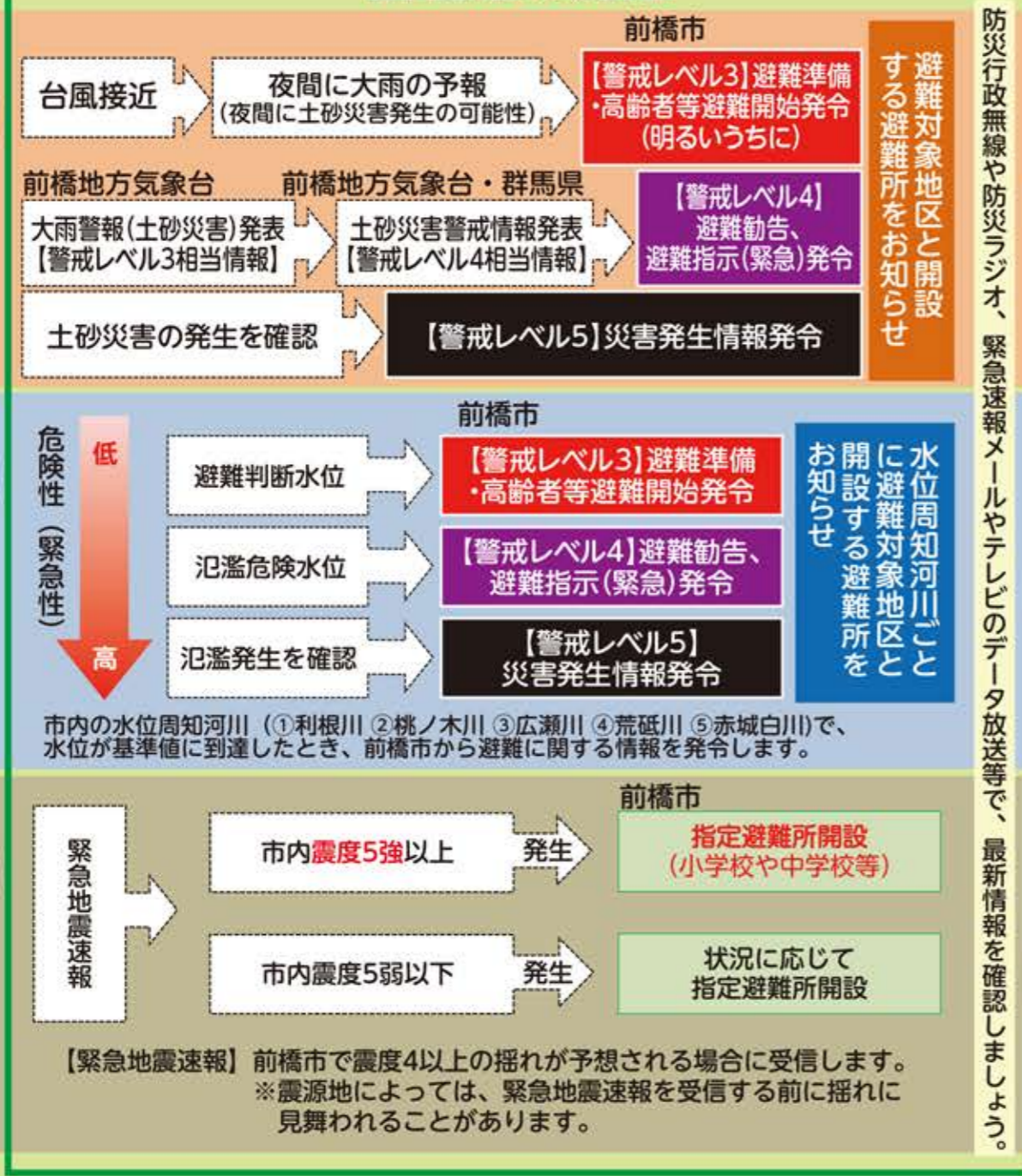


# 災害の危険がせまったとき あなたならどうする？

## 前橋市の対応



## あなたの行動

区分	想定される状況	避難行動
土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域にお住まいの方	土砂災害の発生により、家屋倒壊や家屋への土砂の流入が想定されます。	立退き避難が必要です。避難所等へ避難してください。降雨の状況等で屋外に出ることが難しい場合は、崖地や急傾斜地等から離れた部屋に避難し、窓から離れるようにしてください。
土砂災害危険箇所(土石流危険区域、急傾斜地崩壊危険箇所、土石流危険渓流)にお住まいの方		
上記以外の場所にお住まいの方	土砂災害警戒区域等に入っていない場合でも、急傾斜地が崩壊したり土石流が発生したりすることがあります。	土砂災害が発生する恐れのある場所には決して近づかないでください。前橋市が発信する災害関連情報に注意してください。

区分	想定される状況	避難行動
浸水 0.5m 未満の区域にお住まいの方	河川の氾濫により床下浸水が想定されます。	避難所等への避難が望ましいものの、各自判断の上、屋内安全確保(2階への避難)も可能です。
浸水 0.5m から 3.0m の区域にお住まいの方	河川の氾濫により床上浸水、1階の水没が想定されます。	避難所等への避難が望ましいものの、各自判断の上、屋内安全確保(2階への避難)も可能です。平屋の場合、避難所等へ避難してください。
浸水 3.0m から 5.0m の区域にお住まいの方	河川の氾濫により2階への浸水が想定されます。	立退き避難が必要です。避難所等へ避難してください。
浸水 5.0m から 10.0m の区域にお住まいの方	河川の氾濫により家屋全体の水没が想定されます。	立退き避難が必要です。避難所等へ避難してください。
家屋倒壊等氾濫想定区域にお住まいの方	氾濫流や河岸浸食により、家屋の倒壊が想定されます。	立退き避難が必要です。避難所等へ避難してください。
上記以外の場所にお住まいの方	中小河川や用水路の氾濫が想定されます。	前橋市が発信する災害関連情報に注意してください。

まずは、安全確保行動をとって、身の安全を守ります。  
安全確保行動：①まず低く②頭を守り③動かない

揺れがおさまったら、周囲の安全を確認し、より安全な場所に避難します。

## 避難等の情報

危険度	警戒レベル	避難情報等	発表者	住民が取るべき行動	警戒レベル相当情報
高い	警戒レベル5	災害発生情報	市町村	既に災害が発生している状況で、命を守る行動をとる	大雨特別警報(気象庁) 氾濫発生情報(県)
	警戒レベル4	避難指示(緊急) 避難勧告	市町村	対象地域の住民はただちに避難	土砂災害警戒情報(気象庁、県) 氾濫危険情報(県)
	警戒レベル3	避難準備・ 高齢者等避難開始	市町村	対象地域の高齢者、障害者、乳幼児とその家族等は避難	大雨警報・洪水警報(気象庁) 氾濫警戒情報(県)
	警戒レベル2	大雨洪水注意報	気象庁	避難に備え行動を確認	氾濫注意情報(県)
	警戒レベル1	早期注意情報 (警報級の可能性)	気象庁	災害への心構えを高める	—
低い					

## 避難所の種類

**指定緊急避難場所**  
学校の校庭や公園など

地震や土砂災害等が発生し、または、発生するおそれがある場合に、生命を守るために一時的に安全を確保するための場所です。切迫した状況では、市が指定した場所に限らず、近くの公園、駐車場等、身のまわりの広いスペースに避難することが有効です。

**指定避難所**  
小学校や中学校の体育館など

災害発生後、避難者が一定の期間、避難生活を送る施設です。避難生活の環境を良好に保つためには、避難者同士の支え合い、助け合いが大切です。避難所は避難者全員で協力して運営します。

**自主避難所**  
市役所や市民サービスセンターなど

台風接近による大雨の影響で、洪水や土砂災害等の災害発生危険性が高くなると予想されるとき、避難を希望する人を受け入れるため、一時的に開設する避難所です。原則、食糧や物資の提供はありません。